

参考 用語集

■ あ行 ■

アクセスログ

データを参照したり更新したりする等、システムへの接続状況を記録したもの。

NISC政府機関統一基準群

内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）による政府機関における情報セキュリティ対策のための統一的な基準群。

■ か行 ■

個人番号（マイナンバー）

住民票を有する全ての人に対して、付番される12桁の番号。

■ さ行 ■

しきい値（判断項目）

特定個人情報保護評価のレベル（全項目評価、重点項目評価など）を判断する際に用いる判断項目のこと。

（しきい値判断項目）

- ① 事務の対象人数
- ② 特定個人情報ファイルの取扱者数
- ③ 特定個人情報に関する重大事故の有無

識別番号

個人を特定するために、北九州市が任意で設定した番号。

住民基本台帳ネットワークシステム

住民の利便性の向上と国及び地方公共団体の行政の合理化に資するため、居住関係を公証する住民基本台帳をネットワーク化し、全国共通の本人確認を行うことができるシステム。

情報提供ネットワークシステム

番号法により、国や他行政機関との連携が可能な情報をやり取りする際に、必要となるシステム。

■ た行 ■

庁内連携システム

共通基盤機能の一部であり、本市の業務システム間のデータ連携方法を定義（ルール）化したもの。庁内連携システムに定義されていないデータ連携はできない仕組みを講じている。

特定個人情報ファイル

個人番号（マイナンバー）や個人番号に対応する符号（個人番号に代わって用いられる番号や記号など）をその内容に含む個人情報ファイル。

■ は行 ■

パターンファイル

コンピュータウイルスを検知・駆除するために、各ウイルスの特徴をまとめたファイル。

フォーマット

様式。この評価書においては、業務で使用する端末において表示する、画面の構成をいう。

フラッシュメモリ

データの入力・削除を自由に行うことができる半導体メモリの一種。